



最強のチームワークで指導にあたるカラダラボのスタッフ陣

リハビリに特化したデイサー ビスで機能回復を目指す

多様化が進む介護事業の中で、リハビリに特化した新形態のデイサービス施設「カラダラボ」の展開・運営がいま注目されている。

同施設は現在、札幌圏を中

心に8施設が稼働中。基本的には介護保険適用のデイサービスだが、一般のデイサービストの大きな違いはリハビリに特化している点だ。多くは軽度の要介護者を対象に、それぞれニーズに応じたプログラムを実施し、症状を改善している。リハビリに特化することで、一般のデイサービスが食事や入浴などを含めて

通常約6〜8時間かかるところが、同施設では3時間余で済み、時間を有効に使って効果を発揮させている。

実施されているプログラムは、基本的な運動能力、いわゆる日常的な体の動作をスムーズにさせるものを中心。例えば、紐を使って運動能力の向上を図るレッドコードは、ノルウェーから導入された理学

療法の一つで、無理のない形でストレッチングや筋力増強を図っている。また、横たわった姿勢で関節や筋肉を強化するベッドサイドリハビリや、血行を良好させる足岩盤浴、体の均衡保持能力を高めるバランスボールなど、いずれもさほどきつくない負荷で個々の目標に近づけている。

プロジェクトマネージャーの鳴海誠氏は「生体力学に詳しい北海道文教大学の大森圭准教授（人間科学部理学療法科）の指導に基づいて、利用者様の目標に沿って無理のないプログラムを進めており、改善されていく達成感、喜びは非常に大きなものとなっています」と語る。

また、運営会社のヒューマンリンクでは「6月以降、大塚、恵庭、北広島、小樽、根室と順次カラダラボを展開していく予定で、ゆくゆくは総合リハビリセンターの運営を目指す」（田中紀雄社長）と意欲的だ。

リハビリ特化型デイサービス カラダラボ



個々のペースに合わせた機能訓練の様子



カラダラボ岩見沢店
（岩見沢市5条東15）